

卯月俳句・短歌集

城辺俳句会

満天を仰げば天守寒昂
枯れ土手に先ず水仙の立ちてあり
浦風にタンゴを踊る葱坊主
寒四郎海突き破る日の出かな
薄闇や俯して茶の花二つ三つ
白魚のきらめき銀の針のごと
にぎやかに蕾をつけて枝垂梅
春浅し途切れ途切れに戦友歌
水棹さす親子あうんの白魚漁
城辺川柳会
〔男〕

過ぎて行く男は風のようなもの
大相撲男同士の土と汗
時移り男子厨房入るべし
大浜 幸子
増本 薫
松本 種夫
加納 幸子
出口 恵子
宮田志賀子
山田 静恵
倉田美津枝
大和田いそ子
百代
拈
撫子

男にも事情のありてニユーハーフ
男気を出してふところ火の車
武者者だけど気立てはいい男
やり遂げた男の涙美しい
女には言えぬ男の道を行く
宝塚女が磨く男ぶり
男達神輿かついで汗を拭く
男の子泣いたら駄目と育てられ
男にも育児休暇の制度あり
あらためて男を試す向い風
典方
あき子
玉子
暁
律子
一会
佐賀
栄華
能子
トクエ

新くさの葉短歌会(なすな)

ころころと瀬音のはづむ川べりに猫柳の穂光るがにゆるる
亡き母の愛でゐし白き山茶花の満開となり今日五十回忌
起きぬけに乾布摩擦をすることに慣れてふた月風邪ひかず過ぐ
水仙の甘い香りの漂ひて気分清しく雑草抜きゆく
宙を舞う十五歳の少年(歩夢くん) 勇姿に見入る日に幾度も
朝一番「おめでとう」と夫の声六十八歳吾が誕生日
吉田 信保
藤森多摩子
松比良スミ子
高橋千代子
宮下喜久子
河上 明美

はじめまして。赤ちゃん。

2月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

2月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。